

2021 年度 第 69 期経営方針発表会

IKUTA グループ今後 10 年の展望を具現化するの次世代

1) 30年の事業マネジメントを10年ごとに振り返る

1990 年以降 会社成長へのチャレンジ

1990-2000 人財採用 3S 活動 社内デジタル対応 (ウインドウズ 9 5)

研削盤 CNC 社内開発 (電気チーム)

2000-2010 IKUTA の絶対的ポジションを目指し

「3inOneTechonology」カッター内製化

中国進出(面削+カッター) 商社機能 (サカノシタ・生田貿易)

商事購買 バフ、ミラクルカットオイル、インガーソルチップ等

スリッター&レベラーチャレンジ

2010-2020 新社屋竣工 創業以来普遍の価値 I K U T A の信条クレド

メタルからローリングへ

非伸銅素材顧客の開拓 (アルミ、ステン、鉄、複合、樹脂など)

Hard(機械) Soft(電気ソフト) Service(メンテナンスソリューション)

KYOWIND の日中貿易展開 (製造商社)

生和技研蘇州発足 (溶接・互面・複合) 6,000 m<sup>2</sup>

※ 日本・蘇州が

垂直統合型 2 大製造拠点

新規事業 食品機械事業の展開

2) IKUTA グループ現在の姿

## 京都本社（100年）大親分としての役割

100年貫く社員の **現場力と人間力** があったからこそ続いてきた

100年に渡り、広く深く根が張り上へ上えと伸びた木は株分けの 때가到来した。

### 生田蘇州（20年）生田貿易

2002年に初株分けされ、中国に移植された木も20年を経て、伸び盛りの成人となった。

### 京ウインド（16年）

少し個性的な子株が発出し、親のDNAを活かしつつ自立の道を歩みだした。

### 生和蘇州（8年）

生田蘇州が、SEIWAと姻戚関係を結び、孫が誕生し親の工場を手助けしだした。

### 生田マキネ（5年）

勇敢な社員がIKUTAの旗をあげに未開の地を開拓しに出かけた。

### 京ウインド食品事業（3年）

本社と全く異なる畑の友がグループに加わり、食品機械モノづくりへ拡がった。  
（すでに親から独立の視野が見えた）

### 製造サービス・メンテナンスソリューション事業へのチャレンジ（0）

### 3) WHO IS NEXT CHALLENGER & INNOVATOR ?

5年に及ぶリーダー勉強会を経て  
見える化プロジェクトの先にあるものとは？

IKUTA BIG TREE の下での、強み、弱み、個性、チーム力、稼ぐ力など。

⇒ NL の見える化取り組み発表を思い返す

For Example 来年度から加工グループを独立させる、その社長はNLに決定

⇒ NLさんは明日からどんな準備をしますか？

ENG と MFG に分けた意味を考える

本体を MFG と ENG に分けてそれぞれの強いところ、いいところ、をもっと伸ばし  
それぞれのチーム力を生かした上で、独り立ちできるだけの稼ぐ力を身につける。

モノづくり土台 人財 海外展開 グループ力 次世代層の厚み

2 大垂直統合企業から優良子株を生み出し水平に展開する

グループ総合力 「つくる力」

不況抗体力 「もちこたえる力」

社員のモチベーション 「つながる力」

成長し続ける社員・会社

永続する企業